

整理番号	総会 2018
記 録 者	安井隆雄

2018 年度役員総会 議事録（案）

日時	2019 年 1 月 25 日（金） 12:30~14:30	場 所	名古屋大学野依記念学術交流館 〒464-8603 名古屋市千種区不老町
出席者	馬場嘉信, 石田康行, 金子 聡, 太田清久, 北川邦行, 柘植 明, 柘植 新, 井村久則, 大谷 肇, 竹内豊英, 樋上照男, 湯地昭夫, 小谷 明, 片野 肇, 安井隆雄, 松宮弘明, 湯川 博, 奥山修司, 大橋芳明, 小川数馬, 江坂幸宏, 北川慎也, 栗原 誠, 後反克典, 巽 広輔, 袋布昌幹, 古川真衣, 伊藤雅章, 今田芳憲, 内村智博, 太田一徳, 香川信之, 北出和久, 小島慎司, 清水雅裕, 高橋史樹, 手嶋紀雄, 丹羽啓誌, 間中 淳, 安井孝志, Lim Lee Wah, 以上 出席者 41 名, 委任状 20 名		
議事	1. [1] 2017 年度役員総会の議事録を確認し、承認した。 (資料 1-1) [2] 湯川博会計幹事より 2017 年度収支報告があり、これを承認した。 (資料 2-1~3) 2. 2018 年度事業について各事業担当者（代理を含む）から実施報告がなされた。共催・協賛事業は資料の閲覧によった。これらの事業報告についていずれも承認された。 主催事業 [1] 講演会 (1) 北陸地区講演会について、担当の高橋透幹事に代わり、後反克典常任幹事より報告があった。 (資料3-2) 開催日：悪天候により開催中止 (2) 岐阜地区講演会講演会について、担当の江坂幸宏常任幹事より報告があった。 (資料3-3) 開催日：2018 年 11 月 2 日（金） 場 所：岐阜薬科大学本部校舎 2F 大学院講義室 講 師：久保拓也（京都大）、齋藤伸吾（埼玉大） [2] 講習会 第 28 回基礎及び最新の分析化学講習会(愛知地区講演会)について、担当の北川慎也常任幹事より報告があった。 (資料3-4) 開催日：2018 年 11 月 13 日（火）・14 日（水） 場 所：名古屋工業大学 4号館 会議室3（2階） 講 師：大谷肇（名工大）、石濱泰（京大）、谷水雅治（関西学院大） [3] セミナー (1) 第 37 回分析化学中部夏期セミナーについて、担当の巽広輔常任幹事より報告があった。 (資料3-5) 開催日：2018 年 8 月 30 日（木）・31 日（金） 場 所：すかつとランド九頭竜（福井市） 講 師：森田成昭(大阪電気通信大), 村上博哉(愛知工業大・中部分析奨励賞) (2) 「分析中部・ゆめ21」若手交流会第 18 回高山フォーラムについて、担当の飯國良規幹事に代わり、北川慎也常任幹事より報告があった。 (資料3-6) 開催日：2018 年 11 月 16 日（金）・17 日（土） 場 所：高山市図書館（煥章館）・お宿山久 共催事業 1. 第 49 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会について、担当の湯川博会計幹事より報告があった。(資料3-7) 開催日：2018 年 11 月 3 日（土）、4 日（日） 場 所：名古屋大学東山キャンパス（〒468-8603 名古屋市千種区不老町） 特別討論会テーマ：分析化学が実現する未来社会 講師：村上裕（名古屋大）、池田将（岐阜大）、新岡宏彦（大阪大）、竹内司（島津製作所） 協賛事業 1. 平成30年度「名工大テクノチャレンジ」 (資料3-8) 主催：名古屋工業大学技術部 開催日：2018年7月31日（火）～8月3日(金) 場所：名古屋工業大学 2. 平成30年度東海化学工業会セミナー (資料3-9) 主催：東海化学工業会 開催日：208年11月15日（木）13：00 ～ 16：45 場所：今池ガスビル7階ダイヤモンドルーム：名古屋市千種区今池1－8－8 3. 第26回東海高分子基礎研修コース (資料3-10) 主催：高分子学会東海支部 開催日：2018年10月25日（木）、26日（金） 場所：名古屋工業大学4号館1階ホール 名古屋市昭和区御器所町		

整理番号	総会 2018
記 録 者	安井隆雄

4. 色材アドバンスセミナー 2018 (資料3-11)
 主催：一般社団法人 色材協会 中部支部
 開催日：2018年12月5日(水) 13:00～16:20
 場所：名古屋市工業研究所 第1会議室 名古屋市熱田区六番3丁目4-41

5. 日本のゴム・樹脂関連産業における注目技術を知る―東海地区の研究者・技術者による最新技術の紹介 (資料3-12)
 主催：一般社団法人 日本ゴム協会東海支部
 開催日：2019年1月17日(木) 9:35～16:55
 場所：名古屋市工業研究所 第1会議室 名古屋市熱田区六番3丁目4-41

6. 接着講座マスターコース (資料3-13)
 主催：一般社団法人 日本接着学会 中部支部
 開催日：2019年1月25日(金) 10:00～16:20
 場所：名古屋市工業研究所 第1会議室 名古屋市熱田区六番3丁目4-41

7. 高分子計算科学とその利用 (資料3-14)
 主催：高分子学会東海支部
 開催日：2019年1月10日(木)、11日(金)
 場所：名古屋国際会議場222・223号室 名古屋市熱田区熱田西町1-1

その他

[1] 常任幹事会：第1回常任幹事会 2018年4月20日(金) 名古屋大学
 第2回常任幹事会 2018年8月30日(木) 夏期セミナー初日
 第3回常任幹事会 2019年1月25日(金) 名古屋大学

[2] 役員総会：2018年1月19日(金) 名古屋工業大学

[3] 高山勝己副支部長に代わって、後反克典常任幹事より北陸地区役員連絡会の報告があった。 (資料3-15)
 第1回 2018年10月6日(土) 福井地区
 第2回 2019年1月5日(土) 金沢地区

3. 湯川博会計幹事より、2018年度収支中間報告があり、承認された。 (資料4-1)

4. 馬場嘉信支部長より2018年度中部分析化学功績賞および奨励賞の審査結果として、該当者無しの旨が伝えられた。 (資料5-1)

5. 2019年度事業計画について議論し、以下の計画が承認された。 (資料6-1)

主催事業

[1] 講演会(補助金10万円/講演会、ただし研究者招聘講演会は海外2.5万円・国内1.5万円/件)

(1) 北陸地区講演会について、間中淳幹事より説明があった。

開催日：2019年7月19日(金)で計画中

場 所：大学コンソーシアム富山駅前キャンパス(富山駅前)

講 師：石田康行2019年度支部長、他

(2) 静岡地区講演会について、栗原誠常任幹事より轟木堅一郎氏が担当すること説明があった。

開催日：月頃

場 所：未定

講 師：未定

[1] 講習会(準備金10万円、補助金10万円)

第29回基礎及び最新の分析化学講習会(愛知地区講演会)については、石田 康行2019年度支部長を担当として名古屋工業大学での開催が計画されていると、馬場嘉信次期支部長より説明があった。

[3] セミナー

(1) 第38回分析化学中部夏期セミナーについて、担当の間中淳幹事・袋布昌幹常任幹事より説明があった。

開催日：2019年9月2(月)・3日(火)

場 所：インテック大山研修センター(富山市)

講 師：

(2) 「分析中部・ゆめ21」若手交流会第19回高山フォーラムが植松宏平氏を担当として準備が進められていると、馬場嘉信支部長より説明があった。

整理番号	総会 2018
記 録 者	安井隆雄

開催日:2018 年 11 月 15 日(金)・16 日(土)

場 所:高山市図書館(煥章館)・お宿山久

共催事業

1. 第 50 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会(補助金10 万円)について、巽広輔常任幹事より説明があった。

協賛事業

(資料6-3)

1. 色材セミナー2019
主 催 : 色材協会中部支部
開催日 : 2018 年 3 月 15 日 (金)
場 所 : 名古屋市工業研究所

その他

- [1]常任幹事会: 第 1 回常任幹事会 2019 年 4 月 日 ()
第 2 回常任幹事会 2019 年 9 月 2 日(月) 夏期セミナー初日
第 3 回常任幹事会 2020 年 1 月 日 ()

- [2]役員総会 : 2020 年 1 月 日 ()

- [3]北陸地区役員連絡会: 第 1 回 2019年 7 月 19 日(金) (資料6-2)
第 2 回 2020年 1月上旬頃(予定)

6. 湯川博会計幹事より2019年度収支予算案の報告があり、これを承認した。 (資料7-1～3)
消費税の増税に対する対応、年会の準備金に関する事項は馬場嘉信支部長より本部へ伺うこととなった。

7. 2019年度支部役員の選出について (資料8-1～5)

馬場嘉信支部長より、来年度の支部選出の機関誌編修委員(資料7-2)、代議員候補者(資料7-3)が報告された。来年度より津田孝雄氏を顧問、小谷明金沢大学教授、中田隆二福井大学教授、田中智一福井工業大学教授を参与として推薦することが承認された。来年度役員案(資料7-5)については時期支部長、副支部長、庶務幹事(副)、会計幹事(副)を除き、役員案が了承された。

8. その他

- [1] 馬場嘉信支部長より支部運営細則の学会賞等候補者推薦委員会に関する第 1 2 項の変更の報告があり、これを承認した。 (資料9-3)
- [2] 2020年度日本分析化学会年会について、馬場嘉信支部長より大谷肇氏にお願いすることの報告があり、これを承認した。 (資料9-3)
- [3] 中部支部60周年記念事業について、馬場嘉信支部長より報告があった。 (資料9-3)

10. 2019 年度次期支部長 (2020 年度支部長) の投票が行われ、金子聡副支部長が過半数の得票により選出された。

支部長選挙では、手嶋紀雄幹事よりあった「日本分析化学会中部支部次期支部長選挙に関する申し合わせ事項」に則って行った。1. 選挙は、当該有権者総数2分の1以上の投票をもって有効とする。2. 選挙は、単記無記名投票で行う。3. 3-1 白票及び無効票を除く投票総数の過半数をもって当選とする。3-2 投票の結果、前項の規定による当選者が得られない場合は、高得票者 2 名について再度投票を行う。3-3 前項の高得票者については、同一得票者がいるときは、同一得票者を含め、決戦投票を行う。3-4 決戦投票において両者の得票が同じ場合は、投票を繰り返し、再度同一のときは、両者のうちから、年長者を当選とする。

以上